

室 根

423.6.1

市内小中学校で 耳鼻咽喉科検診実施

市教委

市教委は、五月三十日と三十一日の二日間、旭川大の協力で、市内小中学校の児童・生徒を対象に耳鼻咽喉科検診を実施した。平成十二年から旭医大の協力で毎年続けられ、今年も三人の専門医が各校を巡回して検診を行った。成央小学校では百三人の児童が受診した。

同検診は小学校四年と中学三年、前年度欠席者、経過観察者を対象に実施。今年度の対象者は六百二十二人、昨年度の受診者数五百八十五人、経過観察者百十人、要受診者百三十五人だった。

今年度は林達哉医師、熊井琢美医師、吉田沙絵子医師の三人が子どもたちに問診し、耳やのど、鼻の状態を検診した。診察では異常なし、経過観察、要受診の三つに区分され、経過観察は翌年も受診対象となり、要受診は保護者へ連絡し病気の早期発見につながることになる。成央小学校では三十一日、四年生八十七人と昨年末受診の五年生十六人の計百三人が受診した。

(荒谷)

耳鼻咽喉科検診を受ける児童＝成央小

